

令和2年度 胎内市観光活性化推進委員会 議事録

1 日時

令和3年3月25日（木）午後1時30分～3時30分

2 会場

胎内市産業文化会館 会議室

3 出席委員

高橋晃会長、平川啓一副会長、高橋幸直委員、守屋邦彦委員（オンライン会議システムによる参加）、須貝勝男委員、須貝建雄委員、鈴木高世委員、佐藤稔委員、朽網裕子委員、久世俊介委員、布川拓男委員、真貝佳央梨委員（オンライン会議システムによる参加）

4 委員会傍聴者

5名

5 会議次第

(1) 令和2年度施策の検証について

- ① 観光振興ビジョン及び同アクションプランの進捗状況について
- ② 新型コロナウイルス感染症対策関連施策の実施状況について

(2) 令和3年度秋冬シーズンの方向性について

6 会議経過

別紙のとおり

会議経過

1 開会

- 事務局(商工観光課佐藤参事)

皆さんこんにちは。本日は、お忙しいなかお集まりいただき、ありがとうございます。
ただいまから、胎内市観光活性化推進委員会を開会します。

はじめに、本日の開会にあたりまして、胎内市副市長の高橋からご挨拶申し上げます。高橋副市長お願いいたします。

- 高橋副市長
あいさつ

2 議題(1)

- 高橋会長

それでは議題1(1)について、事務局は説明をお願いします。

- 事務局浮須主任

(資料の確認、議論の進め方について説明)

- 高橋会長

今程事務局の説明のとおり本日の議論を進めてよろしいでしょうか。

最初に観光振興ビジョンの個別の具体的プロジェクトについて進捗を確認し、その後で、胎内市全体の入込客数等の指標を確認するというながれで良いか。

- 委員全員

(異議なし)

- 高橋会長

それでは、事務局は戦略1について説明をお願いします。

- 事務局浮須主任

(戦略1について資料3、4をもとに説明)

- 高橋会長

皆様方から質問・ご意見をお願いしたい。

- 高橋委員

体験プログラムについて、次年度以降は同じ企画ブラッシュアップするのか、ふるいにかけるのか、方向性をきかせてほしい。

- 事務局浮須主任

シーズンごとの動きが、4回目になっている。プログラムの固定化がややみえる。バリエーションも増やしたい。販売目標とバリエーションと両方見ながらやっていきたい。

- 朽網委員

美術館ワークショップの把握は難しいのか。

- 事務局浮須主任

確認したが、集計が間に合わなかった。年度末になれば集計される。

○布川委員

ビジョンに「市民の皆様の役割」とあるが、この「市民」とは具体的に誰を指すのか

○事務局浮須主任

いろいろな参加の仕方があると思う。ガイドやってくれる人、アイデア出しをやってくれる人。

○布川委員

資料4は誰かが提案して、誰かが実施した。その中での市民とは具体的にはだれか。例えばお隣の（市町村に住んでいる）おじさんとかも市民か。

○事務局浮須主任

例えばパラグライダーであれば、パラグライダークラブの方、山のプログラムでは飯豊胎内山の会の方。こちらは市外の方もいる。必ずしも住民でなくても良いと考えている。何かしらの関わりのある方と捉えている。近隣市町村の方と手を組むことで（プログラムを例示しつつ説明）複数市町村連携した広域的な取組も生まれる。

○布川委員

了解した。

○高橋会長

他にご意見等はございますか。

○久世委員

アクションプラン中の令和3年度の方角性について、「団体客向け営業、大口客の獲得」とあるが、コロナ禍の情勢を踏まえて方向性を変えたりはしないのか。

○浮須委員

来年度がアクションプラン第1期の最終年であり、来年度中にプランの改定が予定されており、コロナ禍を踏まえた取組に改められる予定である。そこで考えられる取組を先行して実施していくことにおそらくなるのではないかと考えている。

○高橋会長

他に質疑等が無ければ、重点戦略2について事務局は説明してください。

○事務局浮須主任

（戦略2について資料3、資料5、資料6、資料7をもとに説明）

○高橋会長

今の説明についてご質問・ご意見等はありませんか。

○布川委員

物販の場について、各拠点の売り上げ実績等はつかんでいるか？

○事務局浮須主任

今資料を持ち合わせているもので言うと、道の駅胎内のものをつかんでいる（昨年度842万円、今年度見込み、830万円とほぼ同数値。入込客数値は7割と落ちた中、善戦しているのでは。）

○須貝建雄委員

米粉パンフレットについて、6店舗掲載だが、来年度はもう少し増やす計画などないのか

○事務局浮須主任

今回のパンフレットは菓子組合通じて掲載希望意向を確認して、手上げのあった店舗を掲載した。来年度はさらに増えるよう、菓子店等に働きかけていく計画である。

○真貝委員

ロイヤル胎内パークホテルの売店と道の駅の売店のラインナップはどのような基準で決めているのか。例えば食料農業大で開発した商品等も置けないか。

○高橋会長

ロイヤル胎内パークホテル売店に関して、高橋委員、道の駅売店に関して須貝委員、それぞれお答えいただきたい。

○高橋委員

四季を通じた商品という軸、加えて利幅という軸がある。四季を通じた商品でいうと、新製品などは取扱いやすい。

○須貝勝男委員

道の駅であるので、かつてはナショナルブランドも置いていたが、今は胎内に特化したものを置くように心がけている。置いたものを通じて実店舗に案内できるような売り方を心がけている。あまり利幅は意識していない。

○守屋委員

プロジェクト4のハード整備について、樽ヶ橋遊園と塩の湯温泉に重点を置く背景はどのようなものだったのか。

○高橋会長

こちらについては、副市長でもある私からお答えしたい。辺地債という国の支援制度があり、自治体の負担が2割で済む。この制度を積極的に活用し、効率的に施設の改修をしようという背景がある。この制度が活用できる2施設の整備を速めたところである。

○高橋会長

他になければ事務局は次の戦略について説明をお願いします。

○事務局（商工観光課浮須主任）

（戦略3について資料3、8をもとに説明）

○高橋会長

戦略3について意見等はありませんか。

○高橋委員

観光周遊バスについて、冬季間も運行できないか。スキー場等へ行きたいというニーズが私どもにもたらされている。

もう一点。胎内平のマウンテンバイクのお客が増えている。場所が分かりづらいという声があるが、案内看板等設置できないか。

○事務局南波課長

1点目、観光周遊バスについて、基本的には冬季間は運行しない方向で考えている。スキー場ニーズはあるだろうが、スキー場という1か所のみへ向けた運行というかたちにもなってしまうと考えている。

マウンテンバイクへの誘導看板について、関係者と協議しながら検討したい。

○事務局浮須主任

マウンテンバイクについて、年間パスの取得が前提でコースを利用できる仕組みになっているので、年間パスを受け付ける際に受付窓口であるホテルと自転車の駅サガミにマウンテンバイクコースへの行き方マップを渡せればよいと思う。

○高橋会長

他に意見等はありませんか

○平川副会長

くると胎内について、アンケートによる目的地のほか、乗降地の実数捉えているか。

○事務局浮須

捉えている。後日、提供する。

○高橋会長

他に意見等はありませんか

○平川副会長

くると胎内の実績について、市はどう捉えているか。低調だとは思いますが今後の方向性についてお聞かせ願いたい。現在でも利用できるが、のれんす号の観光客の利用促進を図るべきでは。

○事務局南波課長

実績は低調という評価は平川副会長と同意見。のれんす号の活用を図るという点も将来的には理想であると考えている。

一方でくると胎内は、実験として始めた経緯があり、コロナ後も含めてもう少し実証実験を継続させて欲しい。

○高橋会長

他に意見等はありませんか

○久世委員

観光周遊バスの運転員に車内で観光PR、今後開催される催しのPRなどをできないのか。また、乙は周遊の最終地でもあり、終バスで来た方が、乙から動けなくなってしまうこともある。そのあたりの声掛け「終バスですよ」といったサービス等も含めて、サービスの向上、周遊バスをPRツールとする、などの取組は考えられないか。

○事務局南波課長

目指すべき姿ではあるかと思うが、ドライバーの確保自体が難しい現状がある。現状は運行の維持に努めている状況。とは言え、目指すべき姿は久世委員のおっしゃる姿だと思うので、引き続き検討していきたい。

○高橋会長

他に意見等はありませんか

○真貝委員

バスを使うと特典を貰える等のキャンペーンは考えられないか

○事務局南波課長

特典を使って乗ってもらうというよりは、目的となる施設そのもののPR、魅力向上に経営資源を割いていくべきと考える。

○高橋高橋会長

次に進みます。戦略の4番目を説明してください。

○事務局浮須主任

(戦略4について資料3、資料4をもとに説明)

○高橋会長

ご意見等お願いします。

○布川委員

確認だが、資料プロジェクト10の開催回数の数値は資料4の数値が積み重なっているという理解で良いか

○事務局浮須主任

その様な理解で良い。

○高橋会長

他にご意見等ある方はお願いします。

○守屋委員

アンケートの取り方について、どのようなアンケートの取り方を具体的にしているのか。

○事務局浮須主任

体験プログラムの満足度でいうと、満足度を4段階で評価いただき、その要因を記載していただく内容になっている。

○守屋委員

胎内市全体のどこが良いか、といった設問もありかと思う。他の商品、更には地域としての今後の取組等への反映もできるかと思う。

○高橋会長

他に意見がなければ、事務局は横断的取組について説明をお願いします。

○事務局浮須主任

(横断的取組について資料3、9、10をもとに説明)

○高橋会長

ご意見等はないか

○布川委員

令和3年度以降の観光ディレクターと観光サポーターの関係はどうなるのか。

○事務局南波課長

令和3年度はサポーター中心で、いつからディレクターかは未定。

○布川委員

今年度、観光推進サポーターは大変尽力してくれたと思う。この背景には担当職員の支えも大きかったと理解している。担当職員が異動という話を聞いた。何かしらのプロジェクトに従事している職員であれば、1サイクル位は従事させるのが民間等の組織では通常なのだが、役所は違うのか。担当職員が実質的なディレクターとして機能してきたと思う。

○高橋会長

こちらについては、副市長でもある私からお答えする。

確かに担当職員が取り組んだ部分は大きかったと思うが、これまでの取組はすべて組織として動いているものであり、異動があったとしても引き継がれることとなっている。

○事務局南波課長

事務局の説明にもあったとおり、観光推進組織を構築し、チームで動く様な体制がとれている。後任の職員はまた現在の担当とは違った良さがある。受け継ぐべきものは受け継ぎ、また新たな視点も取り入れた中で取り組んでいくことを期待している。

○高橋会長

では、他に意見がなければ最後に令和2年度の取組の総括を議論していく。
事務局は説明を。

○事務局浮須主任

(資料1にもとづき説明)

○高橋会長

それでは皆様でご議論いただきたい。

○佐藤委員

主要宿泊施設の宿泊人泊数は、民間の施設も含まれているのか。

○事務局浮須主任

含まれている。民間宿泊施設については、ビジネスでの利用がほとんどであることから、人泊数のうちの観光客の割合を聞き取りし、当該割合分を積み上げている。

○高橋会長

他にご質問等はございますか。

(意見なし)

○高橋会長

では議題(1)①はこれで一旦終了し、議題(1)②に移りたい。事務局は説明をお願いします。

○事務局浮須主任

(資料11にもとづき説明)

○高橋会長

ご意見等ありますでしょうか。

○佐藤委員

団体送客助成金について、活用シーンがいまいちイメージできないが、具体的にはどのような活用方法だったのか。

○事務局浮須主任

修学旅行の県内振替需要があり、修学旅行での送客に活用していただいた事例が多かった。

○高橋会長

他に意見が無ければ、議題(2)の令和3年度の秋冬シーズンについて議論していきたい。こちらについては、皆様に自由に議論いただけたらと思うがいかがか。

(しばらく意見無し)

○事務局浮須主任

守屋委員にこの秋冬の動向等つかんでいるものがあればご教示いただきたいが、守屋委員にコメントを求めて良いか。

○高橋会長

守屋委員、秋冬の動向について、御社ではどのように捉えているか。

○守屋委員

秋冬の判断は新型コロナウイルス感染症の流行状況次第のところもあり、見通しは難しい。秋冬はどうしても感染が拡大傾向になるので、基本的には現状から大きく良くなるという事は無い前提で動いていく方が良いのではないかと考えている。

○高橋会長

他に意見等ありますでしょうか。全体のことでないでも個別のプロジェクトの説明のところに關するものでもよい。

○佐藤委員

奥胎内のパンフレット「adve」はどのくらい刷ってどのような場所に置いてあるのか

○事務局浮須主任

奥胎内ヒュッテ、市内観光施設のほか、新潟市内のアウトドア用品店に設置した。

去年は、予算の都合上 2,000 部しか刷れなかったが、令和 3 年度は 5,000 部刷る予定であるので、もう少し幅広に設置できるかと思う。

○高橋会長

他に意見等ありますでしょうか。

○布川委員

戦略 1 の体験プログラムなどについて、例えば胎内市の職員からアイデアを募るやり方は考えられないか。

○事務局浮須主任

アイデアをいただけるのはありがたいが、アイデアの実現を強いられると辛いものがある。プログラムの実行主体にもなってくれるのであればありがたいが、アイデアレベルを我々に預けられて、「さあ、やってみよ」と言われると厳しいものがある。

○布川委員

私が言いたいのはまさにそこで、胎内市の職員には豊富な知見をもつ者がたくさんいると思う。こうした職員にプログラムの実行を含めて提案していただき、担っていただくのはどうだろうか。戦略 1 のところで、「市民とは具体的に誰か」と私質問したと思うが、一般市民に対して市の職員は特別市民なのではないかと思う。

また、提案のアイデアは必ず実行するという活用の仕方ではなく、プログラムのネタとして観光推進組織にストックしておき、いざ胎内のコンテンツをつくる時、「このネタいいね!」となって、実現させるようなやり方が良いのではないかと考えている。

○高橋会長

市職員のボランティアでアイデアを募るということですかね?

○布川委員

そのようになるかと考える。

○高橋会長

副市長でもある私から回答させていただく。あくまでボランティアであるので、そのような提案をしたい職員がいればあり得る話ではないかと考えるが強制させることはできない。既に市では、職員の地域貢献について積極的に推奨しており、実際に多くの実績がある。

繰り返すが、ボランティアなので強いることはできない。布川委員のご意見は、職員にアイデアを出しなさいと指示をせよということか？

○布川委員

指示というかお願いか。

○高橋会長

強制は難しい。

○布川委員

市の職員で自発的に動いている方の名前が何名か思い浮かぶ。他にもこういう方が増えてきたら望ましいのではないかと考えて提案したところである。

○高橋会長

他にご意見等がありますでしょうか。

○布川委員

観光振興ビジョンに限らず胎内市観光全般について議論する場はこの場で良いのか。

○事務局南波課長

この場がまさにその場であると考えている。

○布川委員

胎内スキー場の令和2年度の運営を「する、しない」といった議論をこの委員会ですることは考えられなかったのか。

○高橋会長

副市長でもある私から回答させていただく。胎内スキー場の利用者の役7割は市外利用者である。胎内スキー場の運営については、1億円近い金額のお金が赤字も含めて動くことになる。そうした金額を市民2万8千人で負担しなければいけない事態も想定される。責任を負う者である市で最終的に判断をさせていただく。法令等の定めにより諮問をいただく委員会では、委員会で意思決定をするということもあるかと思うが、この委員会はそうした性格のものではないので、市で判断をさせていただいたところである。

○布川委員

樽ヶ橋遊園の値上げについても、この委員会で議論せず、市で決めたのは同じ理由か。

○高橋会長

値上げというか、市民については値下げ、年間パスポートを導入し利便性を図った。市の内部で議論をし、議会に諮って決定したものである。

○高橋会長

ほかに意見はございませんか。

(意見なし)

○高橋会長

無い様ですので、議題(2)について終了させていただきます。

以上ですべての議題を終了しました。進行を事務局に戻します。

4 閉会

○事務局佐藤参事

長時間の議論、ありがとうございました。次の委員会は半年後に行いたいと思います。結びといたしまして、副高橋会長でございます平川副会長からご挨拶を頂戴したいと思います

○平川副会長

(あいさつ)